

虫のうた 微水弧山

虫詠う 死の隣から 戻れよと

生きてくれ ICUで 祈る朝

君はなぜ はやまろうと 残すメモ

いまはただ 君の笑顔を 見たいだけ

まだ2日 看護の身にも もう明かり

有り難う 徹夜の看護 戻る識

早まるも 思いとどまる 命かな

人はみな 隣合わせの 死を意識

秋の朝 死を選んだが 君は在り

激しさを 心に秘めた 汝が行為

虫のうた 微水弧山

バツわるい 言いてにっこり 君還る

鳴きやんで 静けさ戻る 秋未明

今生は 一度の命 秋に泣く

秋晴れて 一度の命 還りくる

台風の 被害甚大 死も隣

台風の 救助のニュース 温かく

戻りくる 人に用意や 服添えて

きのうより 明るく詠う 虫の声

きのうより 明るく見える 君の顔

時間列 乱れて詠う 自分かな